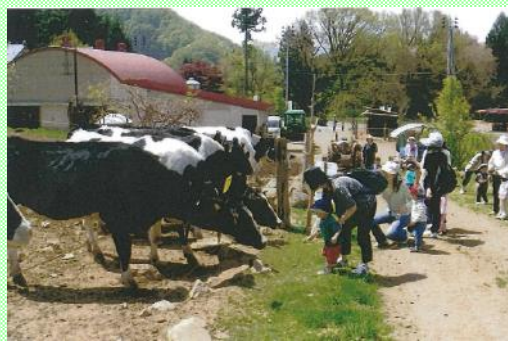


第3回 食育活動表彰

事例集



事例集の発行に当たって

平成28年度から第3次食育推進基本計画がスタートしたことから、農林水産省は、平成28年に「食育活動表彰」を立ち上げました。従来の食育推進ボランティア表彰よりも表彰の対象者を拡大し、ボランティアのみならず、教育活動又は農林漁業、食品製造・販売等の事業活動を通じて食育を推進する優れた取組を表彰しています。

表彰対象の活動は、第3次食育推進基本計画の重点課題を中心に

- (1) 若い世代を中心とした食育の推進
- (2) 多様な暮らしに対応した食育の推進
- (3) 健康寿命の延伸につながる食育の推進
- (4) 食の循環や環境を意識した食育の推進
- (5) 食文化の継承に向けた食育の推進
- (6) その他の食育の推進

としています。

部門として、都道府県、政令指定都市、大学等からの推薦によるボランティア部門と、自薦応募も可能な教育関係者・事業者部門の2部門を設定しています。

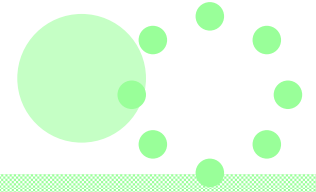
今回の第3回食育活動表彰では、189件の事例の中から、特に優れた取組を行っている7件を農林水産大臣賞、優れた取組を行っている14件を消費・安全局長賞に決定いたしました。

受賞者の取組をまとめた本事例集は、地域で様々な食育活動を行っている方々の参考としていただけるよう作成いたしました。皆様の今後の食育活動をより一層充実したものにしていただくために、御活用いただければ幸甚です。

2019年4月

農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課

も く じ



第3回食育活動表彰 審査委員会 委員	1
第3回食育活動表彰 講評	2

受賞団体の取組紹介

ボランティア部門

(食生活改善推進員)

 洋野町食生活改善推進員協議会	5
 浜田市食生活改善推進協議会	6
 北九州市八幡西区食生活改善推進員協議会	7

(大学等)

 おかず味噌汁健やか力向上委員会 <公立大学法人 青森県立保健大学>	8
 薬膳・食育ボランティア部 <中村学園大学>	9
 石川県立看護大学 垣花渉ゼミ	10

(食育推進ボランティア)

 山梨県立ひばりが丘高等学校 うどん部	11
 特定非営利活動法人 食育ママ	12
 大府市健康づくり食育推進協議会	13

教育関係者・事業者部門

(教育等関係者)

 気まぐれ八百屋だんだん	15
 山梨学院短期大学	16
 学校法人睦美学園 睦美幼稚園	17

(農林漁業者等)

 有限会社蔵王マウンテンファーム	18
 読谷村漁業協同組合	19
 大分農業文化公園	20

(食品製造・販売者等)

 大阪いずみ市民生活協同組合	21
 株式会社ウオロク	22
 神奈川・食育をすすめる会	23

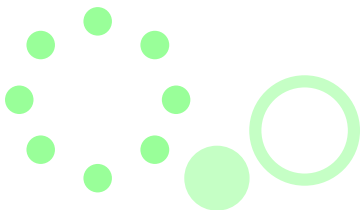
(地方公共団体)

 元気さばえ食育推進会議	24
 東松島市食育推進協議会	25
 平戸市食育推進会議	26

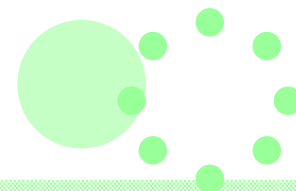
第3回食育活動表彰 審査委員会 委員

秋 田 昌 子	すみだ食育goodネット 顧問
黒 谷 伸	一般社団法人 全国農業会議所 情報事業本部長
田 村 知 香 子	株式会社共同通信社 企画事業部 次長
中 嶋 康 博	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授
東 四 柳 祥 子	梅花女子大学 食文化学部 食文化学科 准教授
山 本 妙 子	神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 公益社団法人 神奈川県栄養士会 副会長・常任理事

敬称略：50音順



第3回食育活動表彰 講評



審査委員長
中嶋 康博
(東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)

第3回「食育活動表彰」では、全国都道府県等から推薦された189件から、優れた21団体の食育活動が表彰されたことを、心からお慶び申し上げます。

審査委員会では審査基準に基づき、先進性、継続性、有効性、波及性、実践性の5つの観点から評価をし、さらに、以下についても審査委員で熟慮を重ねて審査を行いました。

- ①対象活動が第3次食育推進基本計画の5つの重点課題の効果的な解決に資するものであるか。
- ②“地域における食の循環”全体の中における自らの活動の目的や目標を明確にし、企画、実施、評価までに関して地域との連携を踏まえて活動を進めているか。
- ③教育機関としての授業プログラム、管理栄養士等の養成機関としての通常作業、また企業自身の本来業務を確認しながら、応募の活動内容が食育の観点から特別に評価できるものとなっているか。

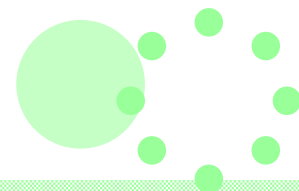
「ボランティア部門」（大学等）では、世代を超えた食生活改善及び防災の取組等、地域との交流を大切に食育活動が見られました。「同部門」（食育推進ボランティア）における、山梨県立ひばりが丘高等学校うどん部の郷土料理「吉田のうどん」の普及推進活動は、県内外の幅広い世代に対し魅力を発信することにより、食文化の継承に大きく貢献しました。

「教育関係者・事業者部門」（教育等関係者）における気まぐれ八百屋だんさんは、子供食堂を全国に先駆けて始められ、子供たちに温かい食事を提供するだけでなく、地域住民の居場所としても大切な役割を果たしています。子供食堂は今では全国に2,000か所以上あると言われており（2018年4月：こども食堂安心・安全向上委員会調べ）、日本中の子供たちに食事と笑顔を与えています。また、「同部門」（農林漁業者等）における有限会社蔵王マウンテンファームは、子供たちが農業のありのままの現実と向き合っ、いのちのつながりを学ぶ活動を進めています。「同部門」（地方公共団体）においては、各地方公共団体の「食育推進計画」に沿った、その地域の課題解決を目指した様々な工夫が見られました。福井県鯖江市では産学官民の多様な関係者が包括的な体制で食育の推進に取り組んでいます。

これらは第3次食育推進基本計画の重点課題の解決に資するものであり、今後のさらなる広がり期待されます。

今回、選外となった個人、団体、企業等においても、今後の発展が期待できる興味深い取組や、特徴的な取組が数多くありました。表彰された取組を参考にしながら、今後もさらなる食育活動を推進し、来年度も御応募いただければと思います。この表彰が国民や社会への食育の推進の大きな契機になることを祈念いたします。

第3回 食育活動表彰 表彰式写真



第14回食育推進全国大会inやまなし「第3回 食育活動表彰」表彰式 令和元年6月29日